

代診医アンケート調査結果報告

長野県保険協会では 1 月に協会の開業医会員に対し代診医に関するアンケート調査を行った。アンケート結果がまとまったので調査結果について報告したい。

調査結果では、代診斡旋のシステムを利用したいという回答が多くあったが、代診医としての登録は難しいという回答が多数という結果になった。また、代診斡旋のシステムを望む声がある反面、代診の利用は不安があるとの意見もあり、賛否両論の意見が出た。県保険医協会では、今回のアンケート結果を参考に理事会での検討を進めていく。

実施期間：2018 年 1 月 12 日～31 日
方 法：郵送により調査用紙を送付
郵送又はファックスにて
調査主体：長野県保険医協会

	医科	歯科	合計
送付数	515	548	1063
回答数	80	52	132
回収率	15.5%	9.5%	12.4%

1. 代診依頼の経験はありますか

経験あり	27	20.5%
経験なし	105	79.5%

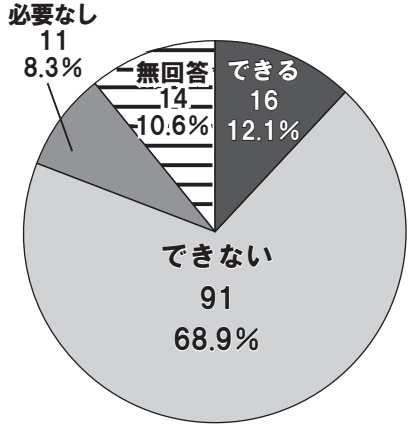
132 名の回答のうち、約 2 割の 27 名が代過去に診の依頼をおこなったことがあると判明した。

2. 代診をどのように依頼しましたか（1 で経験ありと回答した方）

知人	16	59.3%
学会	0	0.0%
大学	8	29.6%
医師会	1	3.7%
職安	1	3.7%
広告	0	0.0%
有料紹介	1	3.7%
その他	8	29.6%

代診の依頼先は、知人、大学が多いようだ。その他の内訳としては、こども、兄弟、親戚などの身内や、以前勤務していた病院、自分の医療機関との関連病院などが出された。

4. 休診時に代診の確保はできますか



休診時に代診医が確保できるかとの質問については、「できる」が 12.1%、「できない」が 68.9%となり、多くの医療機関では代診医の確保が難しいようだ、対して代診医の確保が「必要なし」の意見も 8.3%あった。「必要なし」の理由としては、

- ・すぐに求人に対する応募がない
- ・医療機関に医師、又は歯科医師が複

3. 代診の費用（1 で経験ありと回答した方）

下表のように代診医の費用は医科では 5 万～10 万円の回答が多く、歯科では 2 万～3 万円といった回答が多かった。その他の回答として 1 時間 1 万円や 1 月 20 万円などの意見もあった。

(医科)		
	50,000 円	5
	60,000 円	2
	70,000 円	1
	80,000 円	1
	80,000 円～10 万円	1
	10 万円	2
	10 万円以上	2

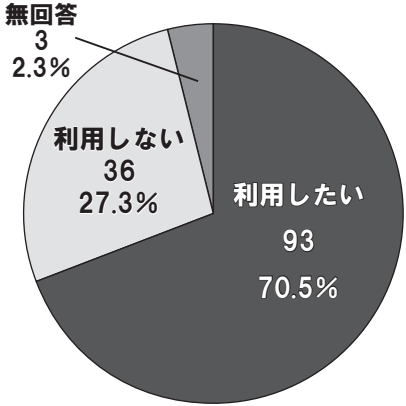
(歯科)		
	20,000 円	5
	20,000 円～30,000 円	2
	30,000 円	1
	30,000 円～50,000 円	1

数いる

- ・一人で診療をするつもりである
- ・採算があわない
- ・医療水準を保てるようなドクターが来てくれるとは考えられない
- ・過去に一カ月近く入院で休診したが急患は親しい医療機関へ依頼した
- ・代診医にまかせるのが不安
- ・他の医療機関に対して依頼する
- ・任せられる代診医がいるとは考えられない
- ・急病になれば代診医を探している時間がないから
- ・休診にします

などの理由があげられた。他の医師、歯科医師に依頼するのは不安、万が一の場合は休診とするといったような回答が複数みられた。

5. 代診斡旋のシステムがあれば利用を希望しますか



代診斡旋のシステムを「利用したい」と回答したのは約 70%と多かったが、「利用しない」との回答も約 27%あり、その理由としては

- ・まかせるのが不安
- ・標榜科の特殊性のため
- ・患者が少ないため
- ・自分の患者は自分で診なければなら
- ・電子カルテの運用など、すぐに対応するのは無理だと思うので。
- ・長期休業をであれば閉院を考えます
- ・診療方針の違い
- ・いきなりきても多分無理だと思う。GF、CF ができ、当院のカルテシステムがわからないといけないので
- ・代診医の確保が可能と考えている
- ・仕事が荒れてしまう

などの回答があり、代診を依頼するならば一定の信頼関係がないと難しいと思われる。

7. 自由意見

代診医に対する様々な意見をいただいたので一部ではあるが紹介したい。

- ・代診のシステムは非常に素晴らしいと思いますが、診療レベル（見識含む）の差をなくす必要があると思います。
- ・理想ではあるが、代診医をこちら側で選択できるようなシステムになればいいと思う。
- ・診療休止にした方が経費がかからない。代診を依頼するほど収入源がない。
- ・電子カルテが普及しているので、代診を行う医師はぶっつけ本番は困難かと思いますので予め打ち合わせが必要かと思います。
- ・経験者としましても、このようなシステムが各方面に構築されますことを切に願っております。患者さんやスタッフにしてみれば、いつもの医院が院長不在であっても、最低限であれ維持されていることがどれだけありがたいことか見にして感じました。
- ・ぜひ、この制度を作ってもらいたい。
- ・代診医として会員が登録して、依頼に応じて助け合うシステムは難しいと思われます。
- ・代診医の給料の分配に関して如何に

6. 代診斡旋のシステムに代診医として登録しますか

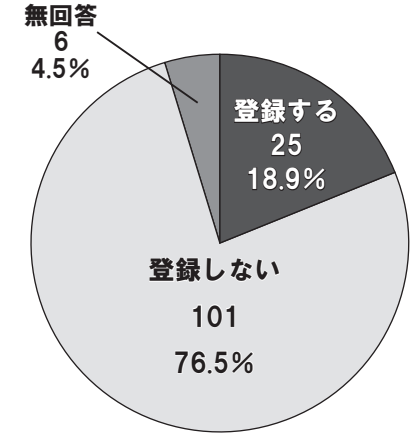
代診医への登録は、「登録しない」の回答が 76.5%大多数を占めた。「登録する」の意見も 18.9%あったが、

- ・自身のクリニックが休業日であり、他の院外業務が無ければ協力可能といった回答もあった。

「登録しない」理由としては

- ・自院の診療で手いっぱい
- ・診療スタイルが違って迷惑をかける可能性があり
- ・自院の診療で多忙なため
- ・自分の診療室が閉鎖または、継続後であれば可能になるかもしれません
- ・開業医の身では、他院の代診は事実上難しい
- ・代診の身分保障を誰がするのか

といった意見があげられ、やはり自身の医療機関が忙しく代診医は難しいという意見が多かった。他には、他院を任されることに対する不安といった意見もあった。



するかが重要と思う。

- ・勤務医を雇うノウハウのセミナーをして欲しい（魅力作りや、募集ノウハウ、給与システムなどについて）

代診医は、大学病院などをお願いするしかないのでは。

- ・自分の出身大学が近くにあるのが、一番代診医を確保できやすいと思います。また代診医の先生をお願いする場合、どんな先生がいらっしゃるのか、多少、不安はつきものかも。
- ・代診医紹介事業は、ぜひとも実現していただきたいと思います。しかし、代診医を必要とされる医療機関の科目環境や人員的内部事情により代診に行く先生のキャリアや技量によっても、マッチングがネックとなってくるのではないかと心配となります。事前に行われている所の経験談を交えて実現後のトラブル防止と、より良いものに育てていくためにも、システム構築には注意が必要だと思います。
- ・代診を頼む方と代診医ともに安心できる保障制度が必要です。